

こたばの力 からだの力 こころの力
園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和4年3月24日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

生活発表会



「新たな節目を！」

終わりよければすべてよし！

本日、令和3年度の保育修了式を無事に迎えることができました。

年中児たちは、「1月、2月、3月！年長さん！」を合言葉に、進級を心待ちにしてきました。

4月からは二階の保育室になる年少児たちは、早くも何度も練習をしながら、進級の意味を感じ始めているところです。

このように、子どもたちは時を積み重ねながら成長していきます。一足飛びには成長しないのが子どもなのです。ですから、生活の中で繰り返す、時が極めて重要なのです。

「初めてできた」から「ときどきできる」へ、そして、「いつでも、どこでもできる」へと、確かな力を身に付けていくのが、子どもの育ちの姿です。

そして、この時間と場を提供するのが、幼稚園の役割の一つだと考えています。

巣立つ子どもたち

～ おめでとうございます ～



3月15日（火）72名の子どもたちが巣立っていきました。

「わたしは大きくなったら…」胸をはって夢を語り、一人一人が保育修了証書をしっかりと受け取りました。授与の際、目を合わせて挨拶する姿に、まぶしいほどに成長を感じさせられました。と同時に一抹の寂しさを感じてしまいました。



また、今年も、園児が新しい世界へしっかりと羽ばたいていきました。

いつまでも、いつまでも「見てござる」よ。

2月21日（月）、28日（月）、3月4日（金）学年ごとに、クラス単位で、遊戯室にて発表会を開催することができました。



年少児は初めてでしたが、落ち着いてのびのびと表現していたのが印象的でした。

年中児では、友達を意識しながら、劇遊びを楽しむ姿に、大きな成長を感じることができました。

年長児では、二年前の遊戯室での姿と比べながら、確かな成長を実感できました、また、力強く自信あふれる表現力に圧倒されました。

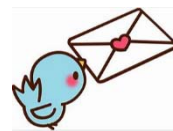


今年は遊戯室での開催となりましたが、保護者の皆さまには、子どもたちの表情や息遣いが間近に感じ取られ、また、安心して落ち着いて鑑賞されているようにお見受けしました。

このように、コロナ禍で厳しい状況ではありましたが、保護者の皆さまのご理解とご協力に支えられ、無事に終えることができ安堵しました。ありがとうございました。

園としましても、保護者の皆さまと共に子どもたちの成長を感じられましたことを、とても有難く、また嬉しく思っております。

保護者会、クラス委員の皆さまへ



一年間、園のためにご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

「育つ幼稚園」をめざしてまいりましたが、今年も貴重なお声や励ましをいただき、育てていただきました。

明日からひとまず、春休みに入ります。

新たな出会いに喜びを膨らませながら、教職員とともに、新年度の準備にあたります。